

主は二度来られる

2024年9月15日

ヘブル人への手紙 9章23～28節

1. 古い契約

幕屋＝天にあるものの写し
律法に従い動物のいけにえの
血によってきよめられなければ
ならない

神の臨在の象徴

いづれも罪・咎ある人間がそこに
近づくには贖いが必要

いけにえの血が贖いの蓋に振り掛け
られなければ、贖いは成立しない

いけにえは動物

神の御前に受け入れられ、御許に近づく
ことができる

ささげるのはアロン系の大祭司

年ごとに（繰り返し）

新しい契約

天上にある本体
それ以上のすぐれたいけにえ＝
キリストのいのちそのものによ
ってきよめられなければならない

神ご自身・実体

神ご自身との関係において、人間の
罪・咎の贖いはキリストご自身の
いのちによってのみ成立する

いけにえはキリスト

ささげるのは大祭司イエス・キリスト

ただ一度だけ（何度もでも、永遠に
でもない）

キリストの贖いは永遠の贖い

ただ一度
世の終わりに
ご自身をいけにえとして（いけにえ）
ささげられたことに基づく（大祭司）

※世の終わり 26節

旧約の預言の「世の終わり」はキリストの来臨により成就

初臨 ①ペテロⅠ 1・20

キリストは世の始まる前から知られていましたが、この終わりの時に
あなたがたのために現れてくださいました。

②ヘブル 1・2

この終わりの時には御子によって語られました。

ご自分をいけにえとして、罪人の罪を取り除くために現れてくださった 26節
私たちのために神の御前に現れてくださる。24節

再臨

新約の聖徒たちは世の終わりに臨んでいる。

キリストの再臨によってもたらされる究極的完成を待ち望んでいる

①コリントⅠ 10・11

これらのことが彼らに起こったのは、戒めのためであり、それが書かれた
のは、世の終わりに臨んでいる私たちへの教訓とするためです。

②マタイ 24・3

イエスがオリブ山で座っておられると、弟子たちがひそかにみもとに
来て言った。「お話ください。いつ、そのようなことが起こるのですか。
あなたが来られ、世が終わる時のしるしは、どのようなものですか。」

Ⅱ. 人間の定め（神による）神に背いて墮落した結果

- (1)一度死ぬ
体の死
- (①霊的な死
墮落
神からの断絶
生まれながら
- (②体の死
背きへの刑罰
- (③永遠の死=第二の死)
①のまま②を迎えた結果

- (2)死後にさばきを受ける
①生きていた時に信じた人(聖徒)には報いが与えられる
②生きていた時に信じなかった人(不信者)には刑罰が下る

イエス・キリストも罪はなかったが、真の人間であったので死なれた
意味：他の者の罪を負った、身代わり（代償）の死
彼らの罪とその罰である死を引き受ける ⇒ 彼らからそれらを除く
イザヤ 53・12 ペテロ 1 2・24

Ⅲ. 民は待ち望む

- (1)古い契約の民
彼らの大祭司が、贖罪の日に罪のためのいけにえを携えて聖所に入って後、務めを終えて出てくるのを待ちわびた。大祭司が自分自身と民のためささげたいけにえを神が受け入れてくださった＝大祭司の無事だったから

- (2)新しい契約の民
 彼らの大祭司イエス・キリストが天から二度めに來られるのを待ち望む
 地上の幕屋からではなく、天から來られる
 一度めは、罪人の罪を負ってご自身をささげるためであったが、二度めは
 彼を待ち望んでいる人々の救いのため

↓
大患難期からの救い＝空中再臨・空中携挙
体の復活
よい行いへの報奨

もはや、罪のための贖いは不必要（何も付け加えるものはない）
一回目に來られて成し遂げられた贖いの業の祝福を、救われた者たちは
十分に、永遠に享受することになる

IV. 結び

新しい契約の民である私たちは

- (1)キリストの初臨（救い主として来られた）においてなされた贖いによって
 地の基の置かれる前から神のご計画の成就を具体的・個人的に体験した
 選び御父 + 恵み御子 + 信仰御霊 = 救い

- (2)キリストの再臨（さばき主として来られる）の時、救いの完成がもたらされる

- 新約の聖徒たち
 空中再臨（携挙）
 新しい体をもって復活
 永遠に主とともにいる
 千年王国（地上）で、主とともに統治する
 永遠の御国に入る

- 旧約の信者たちと患難期の聖徒たち
地上再臨の後、新約の聖徒と同じプロセスで、合流

- 不信者たちへのさばき
地上再臨時
最後の審判（白い御座のさばき）時
体が復活し、永遠に火の中で苦しみ続ける

キリストが二度来られることを、聖書と聖霊の導きによって、信じ、理解し、
宣べ伝える（先に救われた者の地上にいる間の使命）